

三菱商事は、コーポレートスタッフ部門と6つの営業グループにより、グローバルなビジネスを展開しています。
 持続可能な社会創造に向けて三菱商事ができることの大きな柱の一つに、ビジネスを通じて新たな価値を創造し、社会に貢献することがあると考えています。

三菱商事の概要

▶ INNOVATION 2007

2004年7月に発表した新しい中期経営計画「INNOVATION2007」では、「新・産業イノベーター」というビジョンを掲げ、市場のニーズから産業をとらえ直し、新しい仕組みを提案、創出したり、次世代を担う新産業の創生を支援することで産業界の発展に寄与し、お客様とともに成長のシナリオを構築することを目指しています。構造変革が本格化する中で、自ら新たな仕組み作りや

ール作りに参画し、主体的に変化を起こす存在でありたいと考えています。

また、お客様・パートナー、株主・債権者、従業員の3者をステークホルダーの重要な構成要素として再認識し、この3者間でバランス良く経営の舵取りを進め、企業としての社会的責任を全うしていくことを、経営の基本方針としています。

▶ 三菱商事のビジネスモデル

三菱商事は、国内外のネットワークを通じて、エネルギー、金属、機械、化学品、生活物資等の多種多様な商品の売買や製造を行うほか、金融、情報、物流、マーケティングといった総合商社機能を活かしたお客様に対する総合的なサービスの提供や、資源開発、プロジェクト開発など幅広い多角的な事業を展開しています。

運営を行っています。パートナーとして事業に参画する際にも、三菱商事の持てる事業のノウハウやグローバルなネットワークを活かして、必要な経営資源を調達し、事業経営全般について最善の解決策を提案しながら、実行をサポートします。

1 バリューチェーン

商品が開発・調達・生産・販売・サービスという流れの中で付加価値を高めて行く仕組み。三菱商事はさまざまな事業領域において、この「バリューチェーン」全体に関わり、チェーン全体を俯瞰したビジネスの仕組みを構築することによって付加価値の高い事業展開を行っています。

歴史的に主要な業務の一つである貿易取引では、ビジネスの最前線で得る豊富な情報を活かして、金融・情報技術・物流・マーケティングなどの機能を融合させながら付加価値の高いサービスを提供しています。

また、今や三菱商事の収益の7割以上を担う事業投資の分野においては、自らリスクを取り、事業の主体的な推進者として新たな事業の開発・



